



むかわ町合併 10 周年記念事業 穂別博物館特別展

「恐竜・絶滅ワニ 展」の紹介

(～ 11/29、穂別博物館特別展示室、常設展示観覧料のみで見学可)



植物食恐竜パラサウロロフス（ハドロサウルス類）の部分骨格（頭～腰部：約4m）と、マチカネワニ（日本産絶滅ワニ）の全身骨格（全長約8m）が、北海道大学総合博物館から穂別博物館へやってきました。



（パラサウロロフス部分骨格

所蔵：北海道大学総合博物館）



（マチカネワニ全身骨格

所蔵：北海道大学総合博物館）

パラサウロロフスの部分骨格は、むかわ町穂別で発掘された恐竜化石と同じくらいの大きさです。むかわ町穂別産恐竜化石の実物大骨格図（奥）と見比べてください。

マチカネワニは 40 万年以上も前に、日本列島に生息していたワニです。このような巨大なワニが日本で生きていたことを実感してください。

学芸員 櫻井和彦

白亜紀セノマニアン期前期のアンモナイト



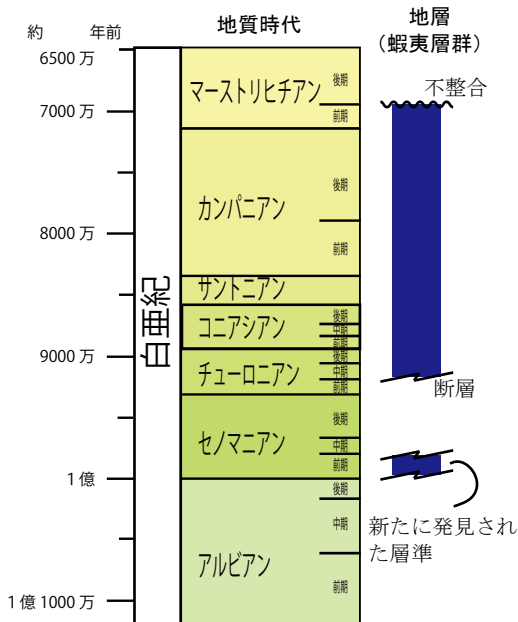
5 cm

マンテリセラス・コウロニに比較される標本
Mantelliceras cf. couloni
HMG-0740



5 cm

テトラゴニテス・キッチニに比較される標本 *Tetragnostes cf. kitchini*
HMG-0743



むかわ町穂別地域で確認されていた白亜紀の地層

発見・採集 1989年 松本達郎名誉教授（九州大学）ほか

産出地、産出時代 むかわ町穂別富内、白亜紀セノマニアン期前期（約9,900万年前）

研究 むかわ町穂別地域の白亜系（白亜紀の地層）の研究は1903年から進められ、産出する示準化石のアンモナイト・イノセラムス（二枚貝）などから、チューロニアン期からマーストリヒチアン期前期までの地層が確認されていました。

1989年に、セノマニアン期前期のアンモナイト群が富内（とみうち）から発見され（上写真）（1991年に発表）、この時代の地層が穂別地域に分布していることが明らかになりました。加えて、これらが発見されたセノマニアン期前期の地層は、断層に囲まれたごく狭い地域に分布していることが分かりました。

論文 Matsumoto, T. and Toshimitsu, S. 1991. A find of a Cenomanian ammonite from Tomiuchi, Hobetsu district, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, no.7, p. 1—8, 2pls.

学芸員 西村智弘

むかわ町立穂別博物館

【公共交通機関による来館案内】（バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約10分）

往路（札幌・苫小牧方面▶博物館）

- ・新千歳空港 10:40 ①▶穂別中央 12:03
- ・札幌駅 8:10 ②▶むかわ四季の館 9:35 - (乗換) - むかわ四季の館 9:41 ④▶穂別中央 10:45
- ・苫小牧駅 7:58 ③▶鶴川駅 8:27 - (乗換) - 鶴川駅前 9:35 ④▶穂別中央 10:45

帰路（博物館▶札幌・苫小牧方面）

- ・穂別中央 16:17 ①▶新千歳空港 17:40
- ・穂別中央 15:40 ④▶鶴川駅前 16:50 - (乗換) - 鶴川駅 17:24 ③▶苫小牧駅 17:53
- ①道南バス 新千歳空港直行便 (1,470円) 前日の16時までに予約 (0145-45-2284)
- ②道南バス 高速ペガサス号 (2,340円) 事前予約 (0146-42-1231)
- ③ JR 日高本線 (640円)
- ④道南バス 穂別鶴川線 (200円) ※各料金は大人1人分

8月2015年

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月2015年

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日